

新宿通信

NO. 86

- 今年度 校内模試スケジュール
- オープンキャンパス情報など
- 中間考査始まる

「ON/OFF の切り替えを大切にしよう」

数学科 二科 洋太

今年度から新規採用で本校に着任しました、二科洋太です。教員になってまだ1か月しか経っておりませんが、授業も始まり少しずつ皆さんと接する機会も増えてきました。新宿高校の皆さんは明るくとても真面目で、元気に挨拶をしてくれますし、難しい授業も一生懸命ついてきてくれる姿が印象的です。私も皆さんが充実したより良い学校生活を過ごせるよう精一杯頑張ろうと思います。慣れないことも多く、迷惑をおかけすることもあると思いますが、何卒よろしく願います。

さて今回は、私の大学受験のお話をしようと思います。とはいっても受験勉強の手本とは程遠く、あまり参考にはならないかもしれませんが、学校行事・部活動・勉強に大忙しな新宿高校の皆さんに私のメッセージが届いてくれれば幸いです。

高校時代を振り返ってみると…私は部活動を3つ（演劇・合唱・山岳）兼部しており、常に多忙でした。9月に行われる文化祭でも、各部活の発表に加えクラス発表の企画運営にもそれなりに携わっており、いわゆる「文化祭ガチ勢」でした。高校3年生の文化祭ではクラスで1つの演劇をつくりあげます。3年間クラス替えが全くないというのもありまして、皆の文化祭に対する熱量は凄まじかったと思います。高3の夏といえば、受験においてとっても大切な時期ではあるのですが…私の場合、気持ちが100%文化祭に振り切れており、勉強に見向きもせず夏休みの1日の平均勉強時間は、夏期講習を除けばほとんど0でした。（皆はマネしないように…）

無事文化祭を終え、9月の終わりに受けたセンター模擬試験では6割ちょっとでした。受験の夏に全く勉強してないので当然の結果です。クラスの友人との学力差をまざまざと見せつけられ、ようやく焦りや危機感を持ちはじめました。同時に「ここから切り替えて全力で追い上げるぞ」と、自分の中で何かが切り替わっていくのを感じ、勉強に対して前向きな気持ちでいっぱいだったのを覚えています。結果、休み時間も単語の問題や暗記科目の学習に充て、休日も友人を巻き込んで学校の教室で一緒に勉強をしておりました。当時勉強自体にあまり苦痛を感じませんでしたし、今では信じられないくらいの意欲と集中力だったと思います。

所謂やる気スイッチというのは人それぞれだと思いますが（仲間と切磋琢磨するタイプ、追い込まれてやる気が上がるタイプ、成功した未来の自分を想像して頑張れるタイプ…等）、私が言えることは「何事にも全力で、妥協せず取り組む」ことが大切だと思います。やはり中途半端に取り組んでしまうと能率も上がらないし、心残りや後悔が残ってしまいます。人生で一度しかない高校生活なので、「全力で・貪欲に」「やるときはやる」のマインドを大切にしてほしいなと思います。

○今年度 校内模試スケジュール

新宿高校では、外部の模擬試験を「実力テスト」等の名称で、校内で実施しています。駿台や河合の模試は校外会場でも実施されますが、同じ模試の場合は、校外会場では受けないで、必ず、校内で受験してください。学年ごとの予定は以下の通りです。

1年生

・スタディーサポート (ベネッセ)	5/1 月
・進研模試 7 月 (ベネッセ)	7/7 金
・GTEC	9/13 水
・進研模試 11 月 (ベネッセ)	11/8 水
・全統高 1 記述模試 (河合塾)	1/31 水
・学びみらい PASS (河合塾)	3/8, 11 金, 月

2年生

・進研模試 7 月 (ベネッセ)	7/7 金
・GTEC	9/13 水
・進研模試 11 月 (ベネッセ)	11/8 水
・全統高 2 記述模試 (河合塾)	1/31 水
・共通テスト模試 (河合塾)	3/8, 11 金, 月

3年生

・第 1 回全統記述模試 (河合塾)	5/1 月
・全国共通テスト模試 (駿台)	7/7, 10 金, 月
・第 2 回記述模試 (駿台・ベネッセ)	10/8 日
・第 3 回全統記述模試 (河合塾)	10/29 日
・第 3 回共通テスト模試 (駿台・ベネッセ)	11/8, 水
・全統共通テストプレテスト (河合塾)	

11/19 日 ※校外会場で受験・学校で一括申込

※3年生へ

10月～11月の模試はマークと記述を組み合わせ、主に国公立大学のドッキング判定が行われます。

- ・10月8日(日)第2回記述模試 (駿台・ベネッセ)
- ・11月8日(水)第3回共通テスト模試 (駿台・ベネッセ)

で駿台・ベネッセの

- ・10月29日(日)第3回全統記述模試 (河合塾)
- ・11月19日(日)全統共通テストプレテスト(河合塾)

で河合塾のドッキング判定がそれぞれ出ます。

1月共通テスト後にも、共通テストリサーチでドッキング判定が出ます。こうした判定結果を参考にして最終的な出願校を決めていきます。

また、大学名のついた“冠模試”も積極的に受験しましょう。

○オープンキャンパス情報など

ここ数年、大学の入試科目に変更が多く見られます。また、2年生から新教育課程での入試が始まります。毎年、2年生の中に志望校(≒3年次の教科選択)がなかなか決められない人がいます。その原因の1つは、情報量(選択肢)が少ないことです。情報を得るために、1・2年生は積極的にオープンキャンパスに参加しましょう。オープンキャンパス開催の情報は教室に掲示しました。進路指導室前に掲示もしてあります。参考にしてください。また、大学によっては事前予約が必要な場合もあります。各大学のHPで確認しましょう。

医療・看護系への進学を考えている人は、夏休みを利用して、「1日医師体験」「1日看護体験」などに参加してみましょう。医療分野の大学入試には、ほぼ面接試験があり、そこで、体験参加の有無を聞かれることもあります。進路指導室前に、「医師体験」「看護体験」の案内ポスターなどが貼ってあります。参考にしてください。

不明な点は進路指導室に問い合わせてください。

○中間考査始まる

中間考査が始まりました。しっかり計画を立てて、準備をして臨んでいることと思います。

17日(水)3年生向けの進学講演会(河合塾)で☆第1志望に現役合格する生徒のタイプは

①授業ファーストな生徒

- ・授業を中心に、学習計画を立てる。
- ・定期テスト・模試を大事にする。

②基礎力を大切にする生徒

- ・基本(高2までの範囲)を大切に。原点は教科書。
- ・反復練習の重要性。

③最後まで諦めない生徒

とありました。

3月の合格速報会(卒業生の合格体験の講演会)でも「定期考査はしっかり取り組んだ。」という話がありました。「定期考査は恰好の問題集」とも言われます。答案が返却されたら間違えた問題は解き直し、「同じ問題を2度と間違えない。」ようにしましょう。

里親の取り組み

33 回生 岡本 琢朗

2007 年に長男を交通事故で亡くして以来、我が家では悲嘆の時期が相当程度続き、家庭内がなんとなくぎくしゃくしていました。年齢的にも出産は望めない状況でした。事故から 10 年ほどしたある時、妻から里子を引き取りたいとの提案がありました。妻が子供が幼稚園の頃から学校や地域で読み聞かせやフォスターペアレント等の活動をしていて、子供が好きなこともあります。まさか里親になって他人の子供を迎え入れることまで考えているとは思いませんでした。東京都の里親研修を受ける中で、子供達を取り巻く困難な現状を知り、ぜひやるべきという気持ちに切り替わりました。

昨年、3 月に待ちに待った里子が我が家に来ました。小 3 の女の子（仮名：留美ちゃん）です。

児童福祉法に規定される里親制度には養育里親、養子縁組里親、親族里親、専門里親の 4 種類があります。私達は養育里親といって、養子縁組を前提とせずに児童養護施設や乳児院で暮らす児童に家庭と同様の養育環境を継続的に養育することを目的とします。養育期間は 18 歳迄です。

里親研修では座学や養護施設での実習を経て、児童相談所（児相）の職員による家庭調査、具体的には家の間取りや家族状況、里親の仕事、収入等、細かくヒアリングされます。これは虐待や児童労働のリスクを払拭するために行われます。養育環境に問題なしと判断されると認定されます。我が家の場合は認定から 7 ヶ月後に候補児童（留美ちゃん）と初面会しました。留美ちゃんの初対面の印象は活発で、恥ずかしがり屋の大人しいお嬢さん。奥さんともにカワイイ！と思い、我が家に迎え入れること前提で交流を深めました。

初めは 2~3 時間の交流から始め徐々に時間を延ばしました。月に 3~4 回、児童養護施設や公園で遊んだり、お好み焼きを作ったり、虫探しをしたりし、慣れてきたら我が家に遊びに来て、新しい生活の場の雰囲気を知ってもらいました。その後は 1 泊の外泊から始まり、年末は 4 泊我が家で過ごしました。転校は 4 月が良からうとのことで、春休み中に受託開始と予定しましたが、直前になって本人がなかなか首を縦に振りません。里親へ引き取られるということは住まい、学校、親しかった人たちとの関係などあらゆることが変わるため非常にストレスが高いものです。留美ちゃんが信頼している児童福祉士が説得し、最終的に我が家に来ることを承諾してくれました。

1 年間で約 30 回の交流を行ったのでマッチングは大丈夫だろうと思いましたが、人の子どもの生活はそんなスムーズではありませんでした。受託開始直後は、交流期間中と印象は変わらず、学校もきちんと通っていました。ところが半月ほど過ぎた頃からお試し行動が始まりました。例えば、テレビや動画を約束の時間を超えて見ているのを注意すると、暴れて椅子を蹴飛ばし、ゴミ箱をひっくり返し、クッション、食卓にあるものなどが散乱するという状態が 1 時間ほど続きます。多い時には日に 3~4 回。里母は留美ちゃんの全てを受け入れるというスタンスですので、そこを見抜いた留美ちゃんは「だからそれが嫌だって言ってんだよ！ふざけんじゃねえ、お前のせいで学校に行く気を亡くした。お前のせいだ！」などと叫びます。これが毎日続くため参ってしまい、児相には何度も相談し、措置解除、つまり受託を止めて施設に返すことを毎日考えていました。でもいつかは成長し、変わるという職員の言葉を信じて 9 月迄頑張ろうと児相と約束しました。

ある時、他の里親宅へ留美ちゃんを1泊預けることができました。その里子も里親に対する暴言は酷いようでした。留美ちゃんは1泊して仲良く遊び、機嫌よく帰宅しました。その時、留美ちゃんは里母に謝りました。その理由を聞くと、友達になった里子の里親への暴言を見て、自分もこんな酷いことをしていたんだと気付いたそうです。その後、多少態度が改まりわずかですが成長したような気がします。

施設で暮らす子供達は当たり前前に経験すること、例えば友達の家で遊んだり、家族旅行に行ったり、習い事や外食、デパートでの買い物等は経験がありません。非常に限られた世界で生活をしています。クラスの友達とお互いの家を行き来して遊ぶのは新鮮で楽しそうです。施設での生活は外部からの刺激がなく、新しいこと、未経験なことにチャレンジしようという気持ち自体が育まれません。そこで何でも経験させようと思い旅行やピアノなど本人の興味があることは何でもやらせています。最近では地域の女子サッカークラブに入ろうかと見学に行ったところです。

里子に対しては、児相に加え、学生ボランティアが自宅で勉強を見てくれたり、地域の養護施設のスタッフが1日遊びに連れ出してくれたり、自分が育った施設の担当職員が遊びに来てくれたりと様々な大人がチームで支えています。里親に対しては相談専門員が里母の愚痴を聞いてくれます。そのおかげで、里親が悩んで孤立したり、里子への虐待防止に繋がっていると思います。

当初、里子を迎えることについて抵抗感がありましたが、1年もすると様々なことも受け入れる気持ちに変わってきます。私達が忍耐強くなったのか、鈍感なのか分かりませんが、何とかなるものだというのが今の気持ちです。留美ちゃんがより良い人生を歩んで行けるようにサポートしたいと思います。要保護児童が施設から出て成人し、就職、結婚、出産など様々な人生のイベントにおいて我が家での経験が少しでも役に立つことができれば嬉しい限りです。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

※今後の予定（進路関係）

- 5月31日（水） 夏期講習の申込〆切（3年生）
- 6月上旬 『進路のしおり』納入予定..配布日は学年により異なります。
- 6月28日（水） 指定校推薦・学校推薦型・総合型選抜大学入試の説明会（3年生）

